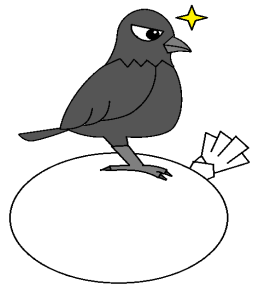
春～夏 カラスの被害が増えています！
ごみの出し方に気を付けて！



３月～７月頃まで、カラスの繁殖時期にあたり、カラスの活動が活発的になっています。そのためごみステーションが荒らされ、ごみが散乱するなどの被害が増えています。カラスの被害を少なくするために、各家庭での対策を！！

生ごみ類は水気をよく切って、新聞紙などで包むこと！

新聞紙で包む事で生ごみがカラスから見えなくしましょう。また、水気を切ることで、生ごみの嵩を減らし、悪臭も軽減されます。カラスは視覚でエサを探しますが、ネコなどは嗅覚に優れています。他の動物がごみを散乱させてしまえば、カラスにもそこにエサがあることを認識させてしまいます。

ごみ袋にいれるときは生ごみは見えないように入れること！

カラスはとても視力がよく、エサを目で探します。ごみ袋に生ごみが入っていることが分からないように、新聞紙などで包んだ後、ごみ袋の中でも真ん中あたりに入れて、他のごみで見えないようにしましょう。

ごみ出しは朝８時まで！前日出しや後出しはしないこと！

ごみは収集日の朝８時までに出してください。カラスは夜明け近くから夕方まで活動しています。
前日出しや後出しによりごみが長時間置かれていると、カラスがエサを探す時間を与えることとなります。人の目につかず安全にエサがとれることをカラスが学習すると何度でもやってきます。

＜お問い合わせ＞
資源循環課　TEL095-829-1159　中央環境センター　TEL095-865-5371　東部環境センター　TEL095-830-2137